

## ヒシを食べる者たち

前々回で、ヒシの実を収穫するつもりとお伝えしました。収穫を試みたのですが、食べるほどには集まりませんでした。近づきやすい場所では、ほとんどイノシシが食い尽くしてしまったからです。ウリ模様が消えて間もない子どもたちが連日ぞろぞろと浅瀬に出てきて、鼻先で葉裏を探りながら、実だけを選んで食べていました。昨年までは見られなかった光景です。



ヒシを食べる生き物として馴染み深かったのは、写真のシカです。こちらは実だけを選ぶということではなく、葉茎をまるごとむしゃむしゃ食べます。数年前、ウェットランド内に1頭の雌鹿が居ついていて、好んでヒシを食べていたのですが、その頃はヒシがまだまばらで希少だったせいか、とても丁寧に食べていました。水面に浮いた葉茎をくわえ、そっと引っ張って水底から根っこを抜き、首を振って根の泥を洗い落としたあと、ゆっくりと全草を食べるといったぐあいです。

その他にヒシを食べる生き物としては、ヌートリアがいます。夏場に水面で葉茎を食べているところを何度か目撃しましたが、好物というほどではなさそうでした。ただし、昨冬は何度も何度も水にもぐり、水底に沈んでいる実を拾ってきては、一粒ずついとおしそうに食べていました。実の味を覚えたからには、今年は沈む前の若い実も食べるだろうと想像していたら、そういう光景は一向に見られませんでした。不思議です。